

ベトナム國家圖書館の古醫籍書誌 補遺(一)

眞柳 誠

かつて「ベトナム國家圖書館の古醫籍書誌」(本學人文學部紀要『人文學科論集』四五號、二〇〇六年三月)を報告した。これは二〇〇一年と二〇〇四年の調査によったが、時間不足で約半数の書は調査を割愛した。それら割愛書についても二〇〇九年八月三日〜同年九月二四日と二〇一〇年一月二五日の再調査で書誌データをほぼ網羅できたので、「補遺」として追加報告する。

前報の二〇〇四年段階では圖書館入り口横のカウンターで買う閲覧申請紙が一〇枚五〇〇ドンと記したが、二〇〇九年には一〇枚一〇〇〇ドン(約五・五円)となっていた。また古典籍藏書のカードケースが一階左側にあると記したが、二〇〇九年には二階古籍閲覧室のカウンター左にある古籍配架室内の窓側に移動されていた。

今回は配架室で架藏状態を見せていただくことができた。古籍は各冊毎にR1から始まる通しの架藏番號が與えられているが、それらは番號順に一〇冊前後が一函に收められ(寫眞)、各函にも通し番號が與えられている。そして一函から二二八函(R2059〜R2070)までは函番號を墨書し、二二九函(R2191〜R2198)から末尾の三〇九函(〜R3664)までの函番號は墨書を消した上に青マジックで書いてあった。つまりR2071〜R2190までの二二〇冊が函

ごとどこかに移動されたため、それ以下の函に新たに青マジックで二二九〜三〇九の番號を記入し直している。これで申請しても出てこない書がある理由の一部を理解できた。また現所藏の古籍数は番號からすると、末尾のR3664より二二〇少ない三五四冊となるだろう。なお再調査した書の一部には、新たに裝訂され、新製の紙ケースに收められる場合があつたので、藏書は徐々に補修されているらしい。以前調査した書が今回見あたらない場合もあつたのは、こうした理由かもしれない。

當圖書館の古籍についてはNGO DUC THO主編『越南國家圖書館所收藏漢喃文古籍書目(Thu Muc Sach Han Nom O Thu Vien Quoc Gia)』(試作本、二〇〇五)があり、これにて一部のデータを補正・修正した。しかし當書目の著録書は七九五点のみで、中には書名のみ著録や、重複して載る書もある。またLÂM GIANG主編『TÌM HIỆU THU TỊCH Y DƯỢC CÒ TRUYỀN VIỆT NAM (ベトナム傳統醫藥書籍考)』(Nhà xuất bản Khoa học xã hội, Hanoi, 2009)の附録にも當圖書館の古醫籍が載り、書名・架藏番號・頁數・書高幅を記すので、これにて一部データを補足した。

今回の報告も古醫籍の分類と書誌データの内容・書式は前報に

従った。詳細は前報の凡例を参照されたい。

<http://mayanagi.hum.ibaraki.ac.jp/paper01/n/v.html>

<http://re.lib.ibaraki.ac.jp/bitstream/10109/490/1/200700395.pdf>

本調査にあたり多くの古典籍原本を閲覧させていただいたベトナム国家図書館、および館員諸氏のご厚意に深甚の謝意を申し上げます。



【診法】

R.620 (究息脈)

寫本一冊三二葉、後補ベトナム四鍼眼装。澁引き焦げ茶中手表紙、書高二五・七×幅二六・二cm。帙なし。外題・背記なし。無記年・無記名の「究息脈」と題する序に、「脈者…察其流…叔和・東垣・楊其浚…尤善于太素者僧智緣、精于太素者張子發…不足以語此也」を記す。以下本文は内題なく、診脈・脈名・脈辨凡八條・保元玄妙賦・憑脈用藥・得妻脈・眞臟脈・七怪詩・十二月司天在泉歌、および二七脈の六八體歌、太素脈論・太素通玄賦（彭用光著新訂）・吉凶脈詩・七表脈吉凶の各篇あり。歌賦を含め漢文の書。跋・識語なし。料紙は中葉ベトナム楮紙で、全體に黃變する。無界、無邊、無魚尾。下部に葉次を記入する。每半葉八行・行二二字。四周雙邊に「THU VIEN / QUOC GIA」（國家圖書館）の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き入れあり。蟲損なく、わずかに破損。

脈論・脈訣の書。筆寫は一九世紀か。

R.645 (脈部位解)

寫本一冊四六葉、ベトナム四鍼眼装。澁引き焦げ茶中手表紙、書高一九・九×幅一四・三cm。帙なし。外題・背記なし。書頭を缺き、序・目録なし。本文首に「又脈部位解」と題し、以下は漢文で脈診の總論、次に六部脈主病詩・脈訣賦あり。「又新刊脈訣」では

目次・二七脈以下に漢喃文の序あつて、脈訣諸詩を國語で述べる」と記し、末尾に「喃喃共沛達成篇」と題す。第一九葉から漢文で脈部位・四脈狀詩・有力無力辨・主脈十六部(詩)の各篇、第二六葉より方位部位圖あり。第二九葉より太素脈論・太素玄通賦・吉凶脈詩・七表脈吉凶詩・八裏吉凶脈詩・賤格脈・賤格肝(ママ、脈)・人身賦・七死圖歌訣・病機捷法(以下缺)の各篇あり、漢文と漢喃文の混合。跋・識語なし。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、やや黄變する。無界、無邊、無魚尾。下部に葉次を鉛筆記入。每半葉九行・行約一七字、小字雙行。四周雙邊に「THU VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き入れあり。蟲損・破損なし。

脈論・脈訣の書。四時を四辰に記す。これは阮朝・翼宗の嗣徳年間(一八四八〜八三)の「嗣」が「時」と音通するための避諱。古びからも一九世紀の筆寫。

R.647 (脈法祕傳)

寫本一冊六〇葉、ベトナム四鍼眼裝。澁引き焦げ茶中手表紙、書高二七・五×幅一五・〇cm。帙なし。外題・背記なし。序・目録なし。書頭に「脈法祕傳」と題し、以下本文は診脈有七法・臟腑定位・六部應六腑・三部主病・七表八裏九道の脈訣・大衍叔和脈歌・傷寒脈法・雜病脈法・死脈無總疑訣・論四辰五行相剋脈・四時平脈・吉凶脈詩・七表脈吉凶・八裏脈吉凶・賤格脈・賤格肝・憑脈用藥・國語脈訣などの諸篇からなる。漢文と漢喃文の書。跋・識語なし。

し。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、一部黄變する。無界、無邊、無魚尾。下部に葉次を鉛筆記入。每半葉七行・行約二六字、小字雙行。四周雙邊に「THU VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き入れ等あり。蟲損なく、やや破損と版心切れ。

脈論・脈訣の書。四辰とも四時とも記すので一九世紀〜二〇世紀の筆寫。

R.673 (洪錦居士著、脈訣輯要)

當番號で見つからず、ベトナム人の數字筆寫で673と紛らわしい693・675・613・615でも見つからなかった。

R.1698 (二十七脈體狀歌)

當番號で見つからず、配架室で確認するとR.1698を収める一八九函自體はある。

R.1884 (脈頭歌括)

寫本一冊二三葉。表紙を缺く後補ベトナム四鍼眼裝で、綠色厚紙で表紙様に包む。書高二七・六×幅一五・九cm。帙なし。外題なし。序・目録なし。巻首に内題なく、本文は六八體の脈頭歌括が第一四葉まであり、漢文・漢喃文が混在。第一四葉ウラから漢文で診法常以平旦・脈度・部位など脈論あり、末尾に「通一子按、上下來去至止、此六字者…其眞診家之綱領乎」と記す。文中には黃帝・

五十營篇・滑伯仁の引用および四辰の表現あり。跋・識語なし。料紙は中葉ベトナム楮紙で、全體に黄變する。無界、無邊、無魚尾。上部に葉次を鉛筆書き。每半葉、八行・行約二四字、小字雙行。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。全書に朱點・朱引きあり。蟲損・破損なし。

脈診の歌賦と論の書。一九世紀の筆寫か。

【醫論】

R.312 (藥文)

寫本一冊一六葉、後補ベトナム四鍼眼裝。澁引き焦げ茶中手表紙、書高二六・四×幅一四・六cm。帙なし。外題・背書なし。序・目録なし。卷首に「藥文」と題し、以下本文は漢文で、一部にベトナム式略字あり。跋・識語なし。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、かなり黄變する。無界、無邊、無魚尾、版心の記載なし。每半葉、七行・行約二二字。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。全書に朱點・朱引き、誤字訂正の書き入れあり。わずかに蟲損・破損あり。

醫論書で、發病機序・體質から補陰・補陽を論じる。書中に張景岳が六味回陽湯を製したが、ただ海上懶翁が保陰湯を製したと記す。なかなかの漢文。達筆だが、求を尤に記すなど明瞭な誤字があるので、自筆本ではない。一九世紀の筆寫だろう。

【醫案】

R.643・644 (黃氏寬甫著、樂生心得)

寫本二冊九六葉と八九葉、後補ベトナム四鍼眼裝。ピンク中手表紙、書高二六・八×幅一五・二cm。帙なく、外題ほかなし。目録なし。第一冊書頭に「樂生心得左(右)卷 東舍華軒黃氏寬甫著」と題し、「纂集治驗方法」と題する無記年・無記名の序一葉あって、古くからの醫案を精選して本書左右二巻を編纂と記す。本文は漢文で、馮氏治療方論第一が六三葉、第六四葉から易氏醫案第二、第八五葉から芷園臆草存按第三が書末第九六葉まで。第二冊は喻氏寓意草第四が書末第八九葉まであり、以下を缺く。跋・識語なし。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、全體に黄變する。無界、無邊、無魚尾。版心上部に各冊の葉次を記す。每半葉、九行・行約二八字、小字雙行。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き入れあり。蟲損なく、版心切れほか破損は補修済み。第二冊は絲切れ。

中國の醫案を纂集した越籍で、書名は『纂集治驗方法』が適切か。一九世紀の筆寫。

【内科】

R.2076・R.2077 (阮嘉璠著、療疫方法卷一・卷二)

二度閱覽申請したが、發見できず紛失だろうとのこと。番號メモ

のミスで、あるいはR.2096・R.2097か。R.2071～2190までの書がある段階で紛失しているので、いずれの番號にせよ當圖書館には現存しないらしい。

【婦人・小兒】

R.534 (樂生心得經治國語歌)

寫本一冊五五葉、後補ベトナム四鍼眼裝。澁引き焦げ茶中手表紙、書高二八・九×幅一四・六cm。帙・外題ほかなし。書頭に目錄なく、内題に「樂生心得經治國語歌」と題し、序的漢喃文あつて「南年甲子節秋…經旨…喃字…并馮先生…家傳…」の文字が讀める。本文も漢喃文で治病の總論を第一七葉まで記し、欄上に陰虛發熱・治小兒疳蟲積熱・六味補水・八味補火などのキーワードを墨書、第一七葉ウラより處方の藥味・調整法を列記。第一九葉ウラに「風寒暑濕總論」と題し、簡単な論と治方あり。以下に題はないが、同様に虛證・治痰ほかの篇あつて論治を記す。第四〇葉ウラに婦人門の題あつて長論を記す。以下は書末まで治方を列記し、一部は婦人科以外。書尾に治驗半葉あり。書末に「樂生心得」を墨書、跋・識語なし。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、かなり黃變する。無界、無邊、無魚尾、欄上に葉次を記入。每半葉、八行・行約三四字、小字雙行。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き入れあり。蟲損なく、書頭にやや破損あり。

簡便な越籍の小兒科書『樂生心得經治國語歌』で婦人科を附す。ベトナムでは小兒を樂生という。一九世紀の筆寫か。

R.1690 (經治婦人小兒諸症總錄)

寫本一冊八一葉、後補ベトナム四鍼眼裝。澁引き焦げ茶中手表紙、書高二七・〇×幅一四・〇cm、帙なし。外題・背記なし。扉に「庚午(一八七〇)春略輯／經治婦人小兒諸症總略」を墨書。書頭を缺き、序・目錄なし。版心に「外科新集 婦人 葉次」を記入し、第一六葉より存し、婦人篇は第二二葉まで。上段に治方を大書、主治・藥味・服用法を小字で主に漢文、下段に病症を大書の漢喃文で記す。次に幼科あつて第一九葉まで同様に記す。次に「小兒科」と題し、版心に「兒科新略 篇名 葉次」を記し、第二七葉まで。篇名は風熱發熱・咳嗽・傷寒各症丹・衆鬼藥があり、各篇では漢文で病症の治方を列記する。次に「別宗全卷」と題し、版心に「別宗婦科(小兒門・大小雜病) 葉次」を記し、書末第二八葉まで。各篇では病症毎に漢文で治方を列記、また歌訣あり。文中に避諱で「四辰」を記す。跋・識語なし。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、全體に黃變する。無界、無邊、無魚尾。『外科新集』は每半葉六行、他書は每半葉、八行・行約二八字、小字雙行。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。全書に朱點・朱引きあり、書き入れ等なし。蟲損・破損なし。

婦人・小兒の治方を越籍の『外科新集』『兒科新略』『別宗』から抜抄した書。一八七〇年の筆寫で能筆。

R.1780 (保胎神效全書解音一八五四)

刊本一冊二三葉、後補ベトナム四鍼眼装。澁引き焦げ茶厚手表紙の下に澁引き焦げ茶中手表紙を存す。書高二四・九×幅一三・四cm。帙・外題ほかなし。扉に四周單邊で「嗣德捌年(一八五五)參月新刊／保胎神效全書解音／海上原本〔海上／原本〕の刻印風印刷」の内封。目錄なし。巻首に「保胎種子國音纂要」の内題あり、以下本文は漢喃文。上段に小字で治方、下段に論を記し、一部に六八體喃歌あり。跋なし。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、やや黄變する。無界、四周單邊、版心白口・無魚尾、象鼻に「保胎」、中央に葉次を刻し、一部下象鼻は大黒口。每半葉匡郭、全縦一九・五×横一一・七cm、八行・下段行一四字、上段の小字一六行・行六字。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き入れあり。蟲損・破損なし。

胎産の書。前報R.383と同版で一八五五年の刊本。當本の刊年をカードが一八五四と記すのは不適切。書名も「保胎種子國音纂要」が適切。

R.1701 (小兒演歌)

寫本一冊、ベトナム四鍼眼原装。澁引き焦げ茶厚手表紙、書高二七・五×幅一五・二cm。帙なく、綠厚紙で表紙様に包む。外題ほかなし。目錄なし。巻首に「小兒演歌」と題し、漢喃文で無記年・無記名の序二葉あり、末尾に「仍方妙訣古今祕傳」と記す。本文は小兒各症の治方を漢文で列記し、論なし。途中より六安煎ほかの方論

あり、主治・薬味・服用法を漢文で記す。また「小兒演歌」と題し、書頭と本文の序あり。次に「治小兒神效」と題する漢喃文一葉あり、以下に呪符・呪文・辟鬼法があり、末尾に「乾鬼王、醫家四聖、寧之底傳／林先生傳」と記す。また治方を列記し、「凡醫者切宜詳察、看症增用藥、不可有誤、慎之」を記す。書末に「咽喉雜症總方經驗 陳先生傳」一葉、「咽喉十八症總方 林先生傳」四葉、「痰火初起 詔安何先生傳」二葉あり。跋・識語なし。料紙は中葉ベトナム楮紙で、やや黄變する。無界、無邊、無魚尾、版心記載なし。每半葉、八行・行約二七字、小字雙行。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き入れあり。かなり蟲損・破損する。

一部に呪法をまじえる小兒治法の書。一九世紀の筆寫か。

R.1762 (治小兒諸症)

寫本一冊五五葉、ベトナム四鍼眼原装。澁引き焦げ茶中手表紙、書高二六・〇×幅一六・〇cm。帙なく、綠厚紙で包む。外題ほかなし。序・目錄なく、書頭に「□方治小兒諸症」と題し、病症毎の治方を列記し、第五葉に手掌と顔面の圖。第六葉から別書で小兒賦、第八葉ウラから第二四葉まで治方。第二五葉から別書で「室女賦」と題し、第二九葉より婦人科・産科の方論が第三八葉まで。第三九葉に家傳方赤痢。第四〇葉から別書で「人身集成賦」と題し、第五二葉まで醫學全般の總論あり、末尾に「啓定捌年歲次癸亥(一九二三)仲秋月阮克」の奥書。全體を漢文と漢喃文で記す。料紙は薄葉

ベトナム楮紙で、わずかに黄變。無界、無邊、無魚尾。版心上部に舊冊葉次を墨書、欄上に新合冊葉次を鉛筆記入。每半葉、八行・行約二五字、小字雙行。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き入れあり。蟲損なく、破損・版心切れ甚。

治小兒諸症・小兒賦・室女賦・人身集成賦の四篇からなり、小兒・婦人の方論と醫學總論の書。一九二三年の阮克筆寫。

R.1908 (撮要治小兒)

寫本一冊、後補ベトナム四鍼眼裝。澁引き焦げ茶手中表紙、書高二四・八×幅一四・七cm。帙なし。外題ほかなし。序・目錄なし。書頭に内題なく、辟邪丹など小兒の治方を列擧、主治・藥味を漢文で記し、以下に漢喃文で鬼病の治法。また「經治婦人諸症」と題す治方三葉、「一門治小兒各症」と題し、漢喃文で呪符・呪文・藥方を記す。次に「治小兒諸症」の處方を漢文で列記し、四時の字句あり。續く別書は「杏林摘要、由四民使用、不求人書」と題し、四季の「用藥活法」ほか治方の主治・藥味を列記。さらに別書あつて、治目痛神效ほかの治法、末尾に小兒科の處方あり。さらに風邪關聯の治方が漢文で雜多に列記される。跋・識語なし。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、全體に黄變する。無界、無邊、無魚尾。每半葉、約六行・行約二三字、小字雙行。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き入れあり。蟲損・破損なし。

小兒・婦人を中心とした雜多な醫方・治法の抜抄書で、呪法もある。亂丁あり。一九世紀の筆寫か。

R.1954 (保赤便吟[一九〇一])

刊本一冊二葉、後補ベトナム四鍼眼裝、表紙缺、書高二六・五×幅一三・五cm。綠厚紙で表紙様に包む。帙・外題ほかなし。全書に亂丁あるが、首尾共に存する。扉に四周單邊で「龍飛辛丑(成泰一三、一九〇一)冬/保赤便吟/試生隆敬刊」の内封あり。ウラから六八體漢喃文歌が第一〇葉オモテまであり。次に第一一葉オモテまで漢文跋あり、婦女に熟讀させる子孫教導の羅岸辨理杜大人の家訓、という。第一一葉ウラは七言の漢詩。識語なし。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、軽く黄變する。無界、四周單邊、版心白口・雙内向、魚尾、象鼻に「保赤便吟」、魚尾間に葉次を刻す。每半葉匡郭、縦二一・三×横一〇・五cm、六行・行一四字、小字なし。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。全書に朱點・朱引き・書き入れ等なし。蟲損なく、僅かに破損。

非醫書で、簡便な幼兒教育の書。恐らく一九〇一年の刊本。

【痘疹】

R.59 (若淑著、治疹痘各症)

R.328 (疹痘科)

R.1210 (疹痘國語歌)

R.2147 (種牛痘書)

右四書、申請するも見つからない。

【外科】

R.200 (瘡瘍經驗全書 卷八)

寫本一冊九七葉、後補ベトナム四鍼眼裝。香色中手表紙(佛語會計紙?の轉用)、書高二六・八×幅一五・二cm。帙なし。外題・背記なし。書頭に面部發疹部位の吉凶圖說一葉あり。「瘡瘍經驗全書目錄/第八卷」一葉あつて、小兒痘瘡圖說・禁忌十歌く四聖丹・痘毒圖までを記す。卷頭に「瘡瘍經驗全書卷之八/宋燕山寶漢卿輯著/天都洪騰右/桐川陳友恭/全校」と題し、以下は圖と本文。第五四葉ウラに「瘡瘍經驗全書目錄/第九卷」一葉半あつて、瘡瘍總論・灸瘡瘍法く太一膏・麒麟竭膏までを記す。また卷頭に「瘡瘍經驗全書卷之九/宋燕山寶漢卿輯著/天都洪貼巖/桐川陳友恭/全校」と題し、以下は論と治法。漢文の書。跋・識語なし。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、全體に黃變する。無界、無邊、無魚尾。下部に通し葉次を鉛筆書き。每半葉、八行・行二四字、小字雙行。藏印記なし。全書に朱點・朱引き、書き入れあり。蟲損なく、やや疲れ破損。

本書はもと一二巻本で宋・寶漢卿の著、明清版がある。恐らくく版からの筆寫で存卷八・九。やや丁寧な一九世紀の筆寫。

R.320 (良醫家傳外科治癰疽門)

圖書館では見あたらないとのことだったが、某氏が當本を偶然コピーしており、これにて調査。寫本一冊、裝釘・表紙・書高幅・帙・外題ほか未詳。書頭に「良醫家傳外科治癰疽門」と題し、冒頭の序的短文に陰陽癰疽の治療要訣を漢文で述べ、末尾に「千金不可傳」と記す。目錄なく、本文は發症部位別の治方から記す。「癰疽門終」とある後に「二十四症」と題し、以下に發症部位の圖說と治方を列記。次に「瘡瘍經驗全書第一卷目錄」あつて咽喉說・又說二篇・纏喉風說く口緊圖說・木舌乳蛾圖說を記し、末尾に「本燕山寶漢卿輯著/天都洪貼巖桐川陳友恭/全校」を記す。以下は目錄通りに圖說と治方を列記するが、目錄にない圖說があり、圖を省略する記載もある。末尾は漏睛瘡圖・鴉陷瘡圖・繭唇之圖で、ともに繪圖は描かれない。漢文の書。跋・識語なし。料紙未詳。無界、無邊、無魚尾。每半葉、八行・行約一八字、小字雙行。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き入れ等なし。蟲損・破損なし。

「良醫家傳外科治癰疽門」と宋・寶漢卿『瘡瘍經驗全書』卷一の合寫本。一九世紀の筆寫か。

【方集・方論】

R.69 (懶翁新制諸方)

寫本一冊五四葉、後補ベトナム四鍼包背裝。綠厚紙表紙の下に澁

引き焦げ茶中手表紙あり、書高二一・一×幅一一・七cm。新製黄紙帙に入れる。外題ほかなし。扉に「懶翁新製諸方」、裏に「傳家寶」を墨書。序・目録なし。書頭に「懶翁新製諸方」と題し、以下本文は漢文で培土固中方・滋水潤燥方より調元救本方・溯源救腎湯まで、薬味・主治・論・加減ほかを記す。跋・識語なし。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、やや黄變。無界、無邊、無魚尾。欄上・下欄に葉次を記入する。每半葉、七行・行約二二字、小字雙行。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き入れあり。蟲損・破損なし。

方論の書。書名は『懶翁新製諸方』が適切。内容は『海上懶翁』醫宗心領』卷四六「倣倣新方」に該當するが、構成・文章表現の細部が異なるので、その抜抄か別傳本らしい。末尾の溯源救腎湯は『醫宗心領』卷四五「心得神方」所載の處方。一九世紀の筆寫か。

R74 (黎先生正傳痛目祕方)

寫本一冊九葉、後補ベトナム四鍼眼裝。綠厚表紙下に澁引き焦げ茶中手表紙あり、書高二四・八×幅一四・三cm。帙・外題ほかなし。序・目録なし。書頭に「黎先生正傳痛目點藥祕方／在北寧省嘉林縣／順(艸十共)社」と題し、以下本文は漢文で點眼藥の薬味・調整法、また内服藥を記す。これ以下は雑多な病症の治方を書末まで漢文で列記。薬味に洋參あり。跋・識語なし。料紙は中葉ベトナム楮紙で、軽く黄變する。無界、無邊、無魚尾、下欄に葉次を記入する。每半葉、八行・行約二〇字、小字雙行。四周雙邊で「THU

VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き入れ等なし。わずかに蟲損・破損。

雑多な方集。「黎先生正傳痛目點藥祕方」を書名とするのは不適切。二〇世紀の筆寫か。

R140 (百症藥詩家傳)

寫本一冊四四葉、後補ベトナム四鍼眼裝。澁引き焦げ茶中手表紙、書高一三・七×幅八・三cm。帙なし。外題・背書なし。序・目録なし。書頭に「百症藥詩家傳經驗」と題し、以下、本文は漢文。

醫方書で補氣類・補脾胃類・補血類・補眞(陰)類・行氣調氣類・治痰類・消食積類、婦人類に補氣血・補氣類・補眞陽類・補眞陰類、行氣降氣類、消食類、治濕利水類、散陣・寒陣(出典は『景岳全書』だろ)・吐類・下法類・婦人・眼類・(王十京)(環?瓊?)玉膏(「出醫方集解書以下」と記す)・齒蟲症・嬰兒部、脇癰圖・赤白癩症に分類。跋・識語なし。料紙は中葉ベトナム楮紙で、全體にやや黄變。無界、無邊、無魚尾、版心に葉次を記す。每半葉、七行・行約一八字。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。朱點・朱引き、書き入れ等なし。わずかに蟲損し、破損なし。

效能別と病門別の方集で袖珍本。『景岳全書』『醫方集解』など漢籍からの抄録らしいが、未整理。一九世紀〜二〇世紀の筆寫。

R.284 (楊氏醫方國語歌)

寫本一冊一九九頁、後補ベトナム四鍼眼装。表紙なく、書高二七・〇×幅一五・〇cm。帙なく、縁厚紙で表紙様に包む。外題ほかなし。序・目録なし。書頭に「楊氏醫方國語歌」と題し、以下本文は漢喃文で記す雑多な方論。四一頁に婦人胎産門、四五頁に中風門を記す。六七頁に「捷效卷」と題し、上段に六八體漢喃文の歌で中風他の論、下段に治方を記す。以下も同形式で一五頁より一三九頁まで舌診の三六圖説あり。一八八頁上段に國語：萬病回春：あり、ここで歌訣は終了。以下に雑多な治方を一九七頁まで列記する。跋・識語なし。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、やや黄變する。無界、無邊、無魚尾、欄上に頁を記入。每半葉、八行・行約二二字、小字雙行。四周雙邊の「THU VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き入れあり。版心切れと蟲損・破損は甚大。

醫方および歌訣方論の書。漢籍『傷寒金鏡錄』『萬病回春』などの影響あり。「辰(時)」の記載あつて、古びからも一九世紀の筆寫だろう。

R.1697 (指南備用)

寫本一冊七二葉、後補ベトナム四鍼眼装。澁引き焦げ茶中手表紙、書高二七・二×幅一五・二cm。帙なく、外題なし。書根に「歌括」、天邊に「脈書」を縦書き墨書。扉に「CHI NAM BI YEU (指南備用)」を赤ボールペンで記入。序・目録なし。書頭に内題なく、

「六腑五臟部位(左寸心小腸：右尺三焦腎火) 國語演歌脈」が漢喃文で第五葉まであり、二七脈について記す。第六葉に「誌群書撰成國語歌括自號指南備用」と題し、以下は上段に漢喃文で病門別論治、下段に漢文で治方を記す。病門は欄上に記され、中風・傷寒・瘟疫・血淋・痰閉・脚氣が第二四葉まで。第二五葉に外科諸瘡瘍風疹、第二六葉ウラに婦人室女科(經後・産後脚氣)、第三六葉に小兒科、第三九葉ウラに疹痘門、第四三葉ウラに麻疹門あつて、上下段に記す。第四五葉に「痘疹」と題し、以下は漢文で發熱論・治論ほかの論と治方が第五四葉まで。第五四葉ウラに「活幼歌」と題し、以下に漢喃文で論治が第六六葉まで。第六六葉ウラに「雜記諸方」と題し、書末第七二葉まで治方を列記する。跋・識語なし。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、全體に黄變。無界、無邊、無魚尾。欄上に葉次を記入する。每半葉、九行・行約二四字、小字雙行。四周雙邊の「THU VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き入れあり。蟲損・破損なく、かなり版心切れ。

越籍の病門別方集『群書撰成國語歌括』指南備用』と漢喃文の「六腑五臟部位國語演歌脈」「活幼歌」、および漢文の「痘疹」などからなる。一九世紀の筆寫だろう。

R.1699 (中風門)

寫本一冊六四葉、後補ベトナム四鍼眼装、絲切れ。澁引き茶色薄手表紙、書高二六・六×幅一六・〇cm。背・天邊・書根とも澁引き。帙なく、全體を縁厚紙で表紙様に包む。外題・背記なく、天邊・

書根に「源流／綱病／諸症」を縦に墨書。「目錄源流綱病諸症」一葉あつて、中風門 壹・四辰傷寒 三／健忘 五十七・不寢 五十七・補遺（痰門 五十八／婦人血痕・赤白帶下・五臟熱口五味・頭痛）を記す。卷首に内題なく、第一葉に「源流綱病諸症總論 中風門」と題し「夫中風者、凡…而療食、其病愈矣」を記す。以下本文は病門毎に論・治方・藥味を列記するが、處方の主治文・加減はなし。各門は四時傷寒論（『傷寒論』の直接影響なし）・内傷論（東垣の直接影響なし）・中暑論・中濕論・燥門論／不寢まで。また「皇朝惠民經驗選要神效三十柒方」と題し、目錄に記す補遺の痰門（家傳）／帶下の治方藥味（主治なし）を第六三葉まで列記。すべて漢文。跋・識語なし。料紙は中葉ベトナム楮紙で、全體にやや黄變する。無界、無邊、無魚尾、版心に「門名 葉次」を記す。每半葉、一〇行・行約二五字、小字雙行。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」（國家圖書館）の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き入れあり。軽い蟲損と破損あり。

病門別の越籍方集で、正しい書名は『源流綱病諸症 附・皇朝惠民經驗選要神效三十柒方』。體裁の統一性と四時・四辰の混在もあり、もと嗣徳年間以前の刊本があり、その系統に基づく嗣徳年間一九世紀後半の筆寫らしい。

R.1752（政征醫官家傳）

寫本一冊五〇頁、後補ベトナム四鍼眼假綴。表紙缺、書高二七・一×幅一五・九cm。帙なく、綠厚紙で表紙様に包む。外題ほかな

し。書頭に「□（北）寧慈山東岸東邑正御醫家官（官家）傳書」と題し、上段に六八體歌、下段に處方・藥味を記す。序・目錄なし。本文は漢喃文で、中風・傷寒・瘧・内傷・鬱症・咳嗽・霍亂・泄瀉・痢症・嘔吐・關隔・吞酸・浮腫・膨脹・積聚・虛損・勞熱・眩暈・腹痛・腰痛・麻痺・聾耳・目痛・口症・咽喉・齒・鼻・厥冷・出血・痔瘻・脱肛・癩狂・驚悸・消渴・淋濁・瘡疥・癰疽・墜下・婦人（各症に細分）が四五頁まで。四七頁に「附治麻疹國語歌」と題し、上段に七言の歌訣、下段に治方を記す。書末五〇頁に「傷寒六絶脈歌」あつて、末行に「黃奉草 黃」を記す。跋なし。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、かなり黄變する。無界、無邊、無魚尾。欄上に頁を記入する。每半葉、八行・行約一八字、小字雙行。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」（國家圖書館）の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き入れあり。蟲損なく、かなり破損と版心切れ。

簡便な病門別歌訣と醫方の方論書。書名は『北寧慈山東岸東邑正御醫官家傳書』が適切。四時を四辰と記す一九世紀の筆寫。このタイプの方論書はベトナムに多く、日本の『古今方彙』や朝鮮の『本草醫方合編』に相當する。

R.2048（羅溪先生著、澤園門傳醫書輯要）

寫本一冊、後補ベトナム四鍼假裝。表紙なく、書高一八・五×幅一二・九cm。帙なく、綠厚紙で表紙様に包む。外題ほかなし。扉に「千金不可露輕言」を朱書。書頭に「澤園門傳醫書輯要 羅溪先生著 門生註并附」と題し、無記年・無記名の序あつて、祕書『醫學

入門』より國語にしたという。目録なし。本文は漢喃文で泄瀉治療の口訣・處方・薬味・治験から記す。以下は寒熱・中風・中濕・暑氣・治瘧・婦人・咳嗽・血・□□・男子・浪柴?・癰疽・保胎生子歌・治方列記・再論回生丹功效(〜第一九)・治痢要訣の各篇あり。跋・識語なし。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、やや黄變する。無界、無邊、無魚尾。每半葉、九行・行約二二字、小字雙行。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き入れあり。蟲損なく、かなり破損と版心切れ。

病門別の簡便な口訣方論の書。一九世紀の筆寫か。

R.1932 (醫書演歌)

R.2086 (集驗良方)

R.2089 (經濟神方廣錄) *非醫書か

右三書、申請するも見つからない。

【道教系醫方】

R.125 (南藥神經)

刊本、存一(三卷三九葉一册(書末に第二三葉を重複して補入))。

ベトナム四鍼眼服裝、濫引き焦げ茶薄手表紙、書高二六・〇×幅一五・三cm。帙なく、後補綠色厚紙で表紙様に包む。外題・背書なし。書頭に男科・婦科・幼科の目録二葉十三行、無記年の「陳朝顯聖興道大王序(庚子より六〇餘年で本書成る)」と無記年の「字佑

帝君降開經序」が二葉。卷首に「南藥神經天集卷之一／專治男科三十方」と題し、以下第二〇葉まで卷一。第二一(三三葉に「南藥神經地集卷之二／專治婦科三十方」、第三四(三九葉に「南藥神經人集卷之三／專治幼科二十方」あり、書末に「南藥神書(ママ)三集卷完」と刻す。本文三卷は漢文と漢喃文。跋・識語なし。料紙は中葉ベトナム楮紙で、全體に黄變。無界、四周單邊・雙邊、版心白口・雙内向黑魚尾、象鼻に「南藥神經」、魚尾下間に「天(地人)集卷之幾」、下象鼻に通葉次を刻す。每半葉匡郭、縦一九・六×横一三・〇cm、八行・行二二字、小字雙行・行二二字。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。全書に朱點あり、書き入れ等なし。蟲損なく、破損部を裏打ち。

方論書で道教系。様々な神が降臨して病症について述べた「解」や「神丹」歌や詩の治方があり、張景岳や海上懶翁も降臨し、ベトナム的。字體は正方形の明朝體で、書中に四時を「四辰」と記し、古びからしても一九世紀後半の版本。

R.325 (人身賦)

寫本一册六二頁、後補ベトナム四鍼眼服裝。ピンク色中手表紙、書高二六・七×幅一四・八cm。帙・外題ほかなし。序・目録なし。書頭に「人身賦」と題し、以下本文は漢文で、生命の誕生、身體機能、臟腑ほかを第三葉まで簡單に記す。第四(六葉に「室女賦」、第六葉後半より「百方賦家傳祕法」一葉あつて、以下を缺く。次に「禮天地及天官科／祈病通用」あり、書末まで漢文と漢喃文で治病の呪

法を記す。跋・識語なし。料紙は中葉ベトナム楮紙で、やや黄變する。無界、無邊、無魚尾。每半葉、六行・行約二六字、小字雙行。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き入れあり。蟲損・破損なし。

主に治病呪法の『祈病通用』で、藏象の「人身賦」など歌賦を前附する越籍。一九〇二世紀の筆寫。

R.1788 (活世良法 [一九二二])

刊本一冊二一七七葉、後補ベトナム六鍼眼裝。表紙缺、線厚紙で表紙様に包む。書高二六・一×幅一五・九cm。帙なく、外題ほかなし。扉に四周雙邊で「活世良方」と題し、周圍に壽・康ほかの文字を配す。ウラに「原板藏在富康社志善壇／叶力恭刊與我自求多福／皇南保大六年(一九三二)歲次辛未正月上旬降乩／恒心印送在家能救萬人／沐恩弟子諸人全奉刊」の刊記。保大六年の志善壇「活世良方序」が漢文で三葉。以下に漢喃文で病人須知・親人須知・恩人須知・神呪が第一三葉まで。第一四葉は「降乩」を依頼する見本書き。「上卷雜病目錄」二葉半に中風・傷寒く消渴・癩疔あつて、葉次と漢喃文の病名注記あり。「中卷種子目錄」一葉半に種子總論く小兒蟲疾・小兒諸胎毒。「下卷婦兒目錄」三葉に調經・經閉く疹痘發熱および諸治方を記す。目錄末尾まで二二葉。卷首に内題なく、本文は「中風第一籤…／第二籤…／第三籤…」のように、全篇で第幾籤に病症と治方を漢文で第七七葉まで記す。書末半葉に漢喃文で「恩人又須知 一則」あつて末尾に「活世良方完」を陰刻する。

料紙は中葉ベトナム楮紙で、一部黄變する。無界、四周單邊、版心白口・雙内向黒魚尾、象鼻に「活世良方上」、魚尾間に「篇名 葉次」を刻す。句讀點も刻入。每半葉匡郭、縦二一・二×横一三・四cm、一〇行・行約二二・三字、小字雙行。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き入れ等なし。蟲損・破損なし。

道教流民間宗教(高臺教か)で、降臨(降乩)した神が告げる處方を靈媒(乩手)が機筆(乩筆)で自動筆記し、これを集成したと稱する病門別治方集三卷の存上卷。基本的に漢文の書。一九三一年の刊本。前報では何かの誤認でR.188を當本としたが、R.188は後掲の『南藥神效』だった。

R.2198 (活世良法)

刊本三卷一冊、存一五七七・二六十三〇葉、後補ベトナム六鍼眼裝。香色薄手表紙、書高二八・七×幅一五・五cm。帙なし。外題なく、書根に「活世／良方／上中下」、天邊に「活世／三／卷」を縦書き墨書。書頭に腐爛破損あつて扉・序・病人須知の初葉を缺き、以下は親人須知・恩人須知・神呪を二三葉まで存し、第一四葉は缺。「上卷雜病目錄」二葉半に中風・傷寒く消渴・癩疔あつて、葉次と漢喃文の病名注記あり。「中卷種子目錄」一葉半に種子總論く小兒蟲疾・小兒諸胎毒。「下卷婦兒目錄」三葉に調經・經閉く疹痘發熱および諸治方を記す。目錄末尾まで二二葉。卷首に内題なく、本文は「中風第一籤…／第二籤…／第三籤…」のように、全

篇で第幾籤に病症と治方を漢文で第七七葉まで記す。卷末半葉に漢喃文で「恩人又須知 一則」あつて末尾に「活世良方完」を陰刻する。卷中も内題なく、種子總論と題する總論末に「辰(時)／保大陸年歳在辛未孟夏朔日」を記す。以下に「弘化真人降于金牌寶善之壇／普濟乩生蓮奉天」／輔政壇生花奉書／平日起居須知」と題し、以下に須知篇・保種歌く補遺婦科・補遺兒科あつて、夫第一籤：や妻第一籤…、また治方を卷末第二六葉まで列記。卷下も内題なく、調經第一籤から始まり、第二八葉の治腎陰腫大方まで治方を列記。さらに「本壇供銀以下」「各諸善壇供銀以下」「珠臺同樂大成三壇生媛」と題し、本書出版費の釀出者名を書末第三〇葉まで列記する。料紙は中葉ベトナム楮紙で、一部黄變する。無界、四周單邊、版心白口・雙内向黒魚尾、象鼻に「活世良方上(中・下)」、魚尾間に「篇名 葉次」を刻す。句讀點も刻入。每半葉匡郭、縦二一・二×横一三・四cm、一〇行・行約二二字、小字雙行・行字。四周雙邊に「THU VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き入れ等なし。蟲損ないが、一部に版心切れ、破損あり。

R.1788と同版で中下巻も揃う殘缺本。上巻の缺葉部分はR.1788で分かる。

【全書】

R.192 (慧靖著、南藥神效)

刊本一冊、存五三葉。後補ベトナム四鍼眼裝、焦げ茶厚手表紙。

書高二五・〇×幅二四・八cm。帙なし。外題・背書なし。扉に四周單邊で「活法中皆活法／南藥神效／奇方方内奇方」の内封、裏に刊記なし。序・目錄なし。首卷に内題なく、「新刊南藥神效十科應治目錄」三葉あつて卷之首(本草)に原草部六二種、以下は藤草一七、水草六、穀一九、菜四六、菓四八、木四三、蟲三二、鱗八、魚三五、甲六、介一三、山禽三九、水鳥二二、六畜二六、野獸三六、水一〇、土一四、金一一、石七、鹵四、人六、本草拾遺六三種を收める。また卷一・諸中科、二・氣應科、三・血應科、四・着痛科、五・不痛科、六・九竅科、七・内傷科、八・婦人科、九・小兒科、一〇・體外科を記す。首卷本文は「藥品南名氣味正治歌括」と題し、貫衆・黃精・柴胡・前胡・草龍胆…の順で、各藥二行に漢名・南名・氣味・主治・加工を漢文・漢喃文で記す。第二五葉オモテにはアルファベットで²⁵を刻入。末尾の第五一葉に人糞・童小便・乳汁までを記す。第五二葉に「本草拾遺 凡六十三種」と題し、第五三葉まで漢名・南名を列記。識語なし。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、わずかに黄變する。有界・無界が混在し、無匡郭葉もあつて、少なくとも三系統の版木が混在する。一部の無匡郭葉を除き四周單邊、版心白口・雙内向黒魚尾、象鼻に「南藥」、魚尾間に「卷之首 葉次」を刻す。每半葉匡郭、縦一九・四×横一三・〇cm、一一行・行二五字、小字雙行。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。全書に朱點あり。蟲損なく、やや破損、版心切れ。

當本は本章の首卷および臨床各科の一〇卷からなる醫學全書『南藥神效』の存首卷一冊。當本に一四世紀慧靖の著との記載は見えない

い。また本草部分の分類は概ね『本草綱目』（二五九六初版）に合致するので、慧靖の原著としても後世の改編や増補を多く受けたのは疑いない。目録から分かる巻一〜一〇の分科は漢籍に例を見ない独自性があるが、巻七の「内傷」科の表現には一五世紀以降に普及した『東垣十書』の影響が明らかにあり、慧靖の原著から相當に隔たっているだろう。したがって著者・書名は「(傳) 慧靖原著 新刊南藥神效十科應治」が適切。當版は少なくとも三系統の版本を混用して印刷されている。また當版での「昏」字を後掲の一九二〇年版が「氏十月」字に作る傾向等からすると、當版↓一九二〇版↓一九二二版の順で翻刻されている。ただし首卷のみの現存本が多い点からすると、首卷だけが翻刻ないし単行販賣された可能性もある。さらに當版にはアルファベットが刻入されるのでフランス統治の一八八七年以降、つまり一八八七〜一九二〇年の刊行となり、その段階以前に少なくとも三回は補刻があったと分かる。ちなみにハノイの漢喃研究所にある極東學院筆寫のA.12701.3本『南藥神效』存六九四頁には序文があり、「錦江慧靖先生集前」と記され、後黎朝の景興(二二二年(一七六一)に中都府(昇龍、現ハノイ)の洪福寺で刊行とある。また同研究所の目録によると、極東學院舊藏のA.2850存一〇〇頁・聚文堂印本が一七六一年刊本に該當する。

R.1513 (慧靖著、南藥神效)

刊本一冊、ベトナム四鍼眼装で表紙脱落し、綠色厚紙で表紙様に包む。書高二五・四×幅一五・二cm。帙なし。他の書誌は前掲R.192

本に同じ。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。朱點なく、一部に書き入れあり。蟲損なく、やや破損。
R.192本と同版で、一八八七〜一九二〇年の刊行、存首卷。著者・書名は「(傳) 慧靖原著 新刊南藥神效十科應治」が適切。

R.1946 (慧靖著、南藥神效)

刊本一冊、ベトナム假綴じ、焦げ茶中手表紙。書高二五・七×幅一四・八cm。帙なし。外題・背書なし。第一〜六葉を缺き、序・目錄・卷頭なく、以下は首卷末尾まで存する。識語なし。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、黄變なし。他の書誌は前掲R.192本に同じ。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。全書に書き入れ等なし。蟲損なく、いささか破損、版心切れ。

R.192本と同版で、一八八七〜一九二〇年の刊行、存首卷、殘缺。著者・書名は「(傳) 慧靖原著 新刊南藥神效十科應治」が適切。

R.1685 (慧靖著、南藥神效)

刊本と寫本を一冊に綴じる。後補ベトナム四鍼眼装、焦げ茶中手表紙。書高二五・三×幅一五・〇cm。帙なし。外題・背書なし。前半の刊本は卷首に缺葉あり、第九葉以下から「本草拾遺」第五三葉まで存す。他の書誌は後掲のR.17本に同。後半は越籍『診法捷要訣』の漢喃文寫本で、脈論の口訣が太素脈ほかから引かれる。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、強く黄變する。寫本は無界、無邊、無魚尾、版心に記載なし。每半葉、八行・行約二四字。四周雙邊で「THU

VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き入れあり。強く破損し、全葉版心切れ、書頭末のみベトナム楮紙で裏打ち補修する。

刊本部分は後掲のR:1740本と同じ一九二〇年版『南藥神效』で、存首巻、残缺。著者・書名は「(傳) 慧靖原著 新刊南藥神效十科應治」が適切。『診法捷要訣』は一九二〇世紀の筆寫。

R:1740 (慧靖著、南藥神效I 一九二〇)

刊本一冊、表紙等脱落し假綴じ状態、縁厚手紙で表紙様に包む。書高二五・三×幅一四・八cm。帙なし。外題・背書なし。扉に四周雙邊の「活法中皆活法／南藥神效／奇方方内有奇方」の内封あり、その裏に「河内行樓／啓定五年(一九二〇)九月新刊／福安藏板」の刊記。「新刊南藥神效十科應治目錄」三葉あって、卷之首(本草)に原草部六二種、以下は藤草一七、水草六、穀一九、菜四六、菓四八、木四三、蟲三二、鱗八、魚三五、甲六、介一三、山禽三九、水鳥一二、六畜二六、野獸三六、水一〇、土一四、金一一、石七、鹵四、人六、本草拾遺六三種を収める。また卷一・諸中科、二・氣應科、三・血應科、四・着痛科、五・不痛科、六・九竅科、七・内傷科、八・婦人科、九・小兒科、一〇・體外科を記す。本文は「藥品南名氣味正治歌括 附製造」と題し、各藥二行に漢名・南名・氣味・主治・加工を漢文と漢喃文で記す。巻頭から貫衆・黃精・柴胡・前胡・草龍胆…の順で、末尾の五一葉に人糞・童小便・乳汁を記す。第二五葉オモテにはアルファベットで *name* を刻入。第五二

葉に「本草拾遺 凡六十三種」と題して漢名・南名を列記するが、末尾の第五三葉を缺く。識語ほかなし。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、黄變なし。有界、四周單邊、版心白口、雙内向黒魚尾は上下邊に接し、魚尾間に「南藥 卷之首 葉次(目錄から通し)」を刻す。每半葉匡郭、縦一九・〇×横一三・二cm、一一行・行二五字、小字雙行。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。全書に書き入れ等なし。蟲損なく、やや破損。

一九二〇年のハノイ福安藏版本で、存首巻、残缺。後掲の一九二二年版より混亂少なく、刷りもいい。著者・書名は「(傳) 慧靖原著 新刊南藥神效十科應治」が適切。

R:1979 (慧靖著、南藥神效)

刊本一冊、表紙等脱落し假綴じ本状態を縁厚手紙で表紙様に包む。書高二五・三×幅一四・四cm。帙なし。外題・背書なし。首巻の全葉を存し、識語ほかなし。料紙は荒い纖維を交える薄葉ベトナム楮紙で、やや黄變。他の書誌はR:1740本と同。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。全書に書き入れ等なし。鼠損あり、書的首尾をやや破損。

一九二〇年のハノイ福安藏版本で、存首巻。著者・書名は「(傳) 慧靖原著 新刊南藥神效十科應治」が適切。

R:18 (南藥神效)

刊本一冊で、もと二冊を合わせた後補ベトナム四目鍼眼裝。溢引

き焦げ茶厚手表紙、書高二五・八×幅一五・四cm。帙なし。外題なく、書根・天邊に「南藥上(集)」を墨書。扉に四周單邊で「大南啓定七年(一九二二)八月吉日幸遇良醫家有原板得新刻／南藥神效／西曆壹千玖百貳拾貳年 柳文堂公益藏板」の内封。序なく、内封ウラから「新刊南藥神效十科應治目錄」二葉半あつて、卷之首「藥品南名氣味正治歌括」から卷一〇「外科」までを記し、卷一に連續する。目錄に反して卷之首なく、卷一首に「新刊南藥神效十科應治卷之一」の内題、以下本文存三卷は漢文で、字喃はどうもない。料紙は薄葉ベトナム楮紙。有界、上下雙邊、版心白口・内向き雙魚尾、象鼻に「南藥神效」、魚尾間に「卷幾 葉次」を刻す。每半葉匡郭、縦二一・四×横一三・四cm、一行・行二七字、小字雙行。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き込みあり。蟲損・破損ないが、糸切れ。

前報では何かの誤認でR:18(南藥神效)とR:1788(活世良法)を混同し、R:18(活世良法)として報告したので、今回は兩書を正しく著録する。本書自體は首卷を含め全一卷の醫學全書で、當本は首卷を缺く存卷一〜三の一九二二年刊、柳文堂藏版本。著者・書名は「(傳) 慧靖原著 新刊南藥神效十科應治」が適切。

R:169 (慧靖著 南藥神效一九二二)

刊本一冊、後補ベトナム四鍼眼裝。ピンク色假表紙の下に香色中手原表紙を遺す。書高二五・一×幅一四・七cm。帙なし。外題・背書なし。扉に四周雙邊で「活法中皆活法／南藥神效／奇方方内

有□□(奇方)」の内封あり、その裏に「河内行□(樓)／啓定七年(一九二二)九月新刊／福文藏板」の刊記。序・目錄なし。首卷に内題なく、「藥品南名氣味正治歌括／原草部 凡六十二種」と題し、以下本文は貫衆・黃精・柴胡・前胡・草龍胆…の順で、各藥二行に漢名・南名・氣味・主治を漢文・漢喃文で記す。末尾の第五一葉に人糞・童小便・乳汁を記す。第五二葉に「本草拾遺 凡六十三種」と題し、第五三葉まで漢名・南名を列記。卷一は扉に四周雙邊で「大南啓定七年八月吉日幸遇良醫家有原板得新刻／南藥神效／西曆壹千玖百貳拾貳年 柳文堂公益藏板」の内封、その裏から「新刊南藥神效十科應治目錄」一葉半強あり首卷と卷一〜一〇を記す。卷一頭に「新刊南藥神效十科應治卷之一」と題し、中風より論と治方を記す、卷三末の便血・溺血まで存。全體は南藥の簡便な治方が多く、中國の影響は少ない。多くは漢文で、一部に漢喃文あり。卷一は三六葉、卷二は三三葉、卷三は九葉。藥名を白字に刻す。識語ほかなし。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、わずかに黃變する。有界、四周單邊、版心白口・雙内向魚尾、象鼻に「南藥神效」、魚尾間に「卷幾 葉次」を刻す。每半葉匡郭、縦一八・五×横一二・五cm、一行・行二五字、小字雙行。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。全書に書き入れ等なし。蟲損なく、やや破損。

本書は首卷を含め全一卷の醫學全書で、著者・書名は「(傳) 慧靖原著 新刊南藥神效十科應治」が適切。當本は存首卷・卷一〜三の一九二二年刊、柳文堂(ハノイ福文)藏版本。その全葉を一九

二〇年版と比較するに、完全な別版で、誤字が増加しており、刻字も劣る。また一九二〇年版の刊記に似せ、その「福安藏」も一九二二年版では「福文藏」に作る。すると一九二二年の柳文堂（ハノイ福文）藏版本は卷一内封に「幸遇良醫家有原板得新刻」と記すことから、あるいは一九二〇年ハノイ福安藏版本の海賊版か。

R.1847 (慧靖著 南藥神效 一 九二二 一 一 一 一)

後補ベトナム四鍼眼装、焦げ茶中手原表紙で、刊本と寫本の二書を合一冊。書高二四・五×幅一四・七cm。帙なし。外題・背書なし。

第一書は遊紙一枚、扉に四周雙邊で「活法中皆活法／南藥神效／奇方方内有奇方」の内封、その裏に「河内行樓／啓定七年（一九二二）九月新刊／福文藏板」の刊記。目録の第一葉を欠き、第二、三葉に卷五不痛科く卷一〇體外科を載せる。首卷に内題なく、「藥品南名氣味正治歌括／原草部 凡六十二種」と題し、以下本文は五三葉まで全葉を存す。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、やや黄變する。他の書誌は上掲本R.169に同。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」（國家圖書館）の藏印記。全書に朱點・朱引き書き入れあり。蟲損・破損なし。

第二書は寫本で、外題・内題なし。書頭から人參・黨參・玄參・沙參・丹參・黃耆・白朮・茯苓・甘草・當歸・川芎・白芍・赤芍・生地・熟地の順で、各藥の氣味と主治を六六歌の一二字で一行に記す。一部に小字で別名や加工を記すが、すべて漢文。末尾は預知

子・王不流（ママ）行・狼毒・藜蘆・草麻子・華撥・百部・京墨まで。全書に朱點・朱引き書き入れあり。鼠損のみ。

第一書は一九二二年のハノイ福文藏版『南藥神效』の存首卷。著者・書名は「傳）慧靖原著 新刊南藥神效十科應治」が適切。第二書は越籍の藥性書で、冒頭に參類を配す書は他に未見。また主治をベトナム的な六六歌とするが、字喃はない。

【本草】

R.271 (藥品南名氣味正治歌括)

寫本一冊一一八葉、後補ベトナム四鍼眼装。澁引き焦げ茶厚手表紙、書高二八・五×幅二六・三cm。帙なし。外題・背書なし。序・目録なし。卷首に「藥品南名氣味正治歌括 附製造」と題し、原草部凡六十二種を貫衆・黃精・柴胡の順で記載する。末尾の第五七葉は人部の人糞・童小便・乳汁までで、内題も記載順次も『南藥神效』の首卷に同じだが、末行に「嶺南本草上卷終」と記す。以下は別書の合冊で、第五八葉に「新刊海上懶翁全帙卷之十三」とあり、以下は黃柏・黃精・白蘇・白朮・白芷・赤花蛇・蕪荑まであり、「詩曰」として漢文・漢喃文の歌訣を記す。一一〇葉の末尾に「本草下卷終」および釀金の四名を記す。第一一一葉に「本草拾遺」と題する漢喃文藥性歌三葉があり、これは『南藥神效』首卷の末尾に同。さらに以上全体は漢喃研究所の同名寫本V.Hv.五二六（V.Hc.二 一 二八）に同じ。第一一四葉に「指南藥性賦」と題し、「欲惠生民、

先尋聖藥、天書分定南邦、土産有殊北國」と述べて治法ごとの薬味を漢文で列記し、これは後掲の R.1199・R.1895 本にほぼ同じで、慧靖『洪義覺斯醫書』所収の『直解指南藥性賦』に基づく。跋・識語なし。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、全體に黄變する。無界、無邊、無魚尾、版心に葉次を記す。每半葉、八行・行約二〇字、小字雙行。一九世紀の筆寫か。四周雙邊に「THU VIEN / QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き入れあり。一部を蟲損・破損する。

第一一三葉までは刊本『醫宗心領』卷一二・一三(別稱『嶺南本草』上下卷)、第一一四葉以下は『直解指南藥性賦』による本草(南藥)藥性の合鈔本。

R.2117 (大南藥神效)

所在不詳。